

ドライバー総参加のセーフティチャレンジ事業

直轄事業

実施目的

多くのドライバーの参加により、県民の交通安全意識と安全行動をさらに高め、交通事故減少の定着化を図る。

実施場所 県内全域

対象者 県民一般

開始年度 平成8年

予算 0千円

実施内容

(内容)

3人で1チームを編成し、実施期間中、チーム単位で無事故・無違反にチャレンジする。特に高齢者の交通事故防止のため、シルバー部門を設けている。

なお、無事故・無違反を達成したチームには、達成記念品のほか、抽選で特別賞を贈呈する。

(方法)

県交通対策協議会及び県交通安全協会の共催。県交通安全協会にセーフティチャレンジ事業実行委員会を設置し、事業の趣旨に賛同する企業等からの協賛金及び参加料により事業を行っている。

URL

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16005d/safety-challenge.html>

交通事故多発地点緊急対策事業

直轄事業

実施目的

県下における交通危険箇所及び交通渋滞箇所並びに都市交通等の交通問題を取り上げて調査研究し、その改善を図る。

実施場所

県内交通危険箇所

対象者

県民一般

開始年度

昭和47年

予算

0 千円

実施内容

(内容)

県民が安全で安心して暮らせる交通環境の実現を目指して、交通事故多発地点等について道路環境を中心とした詳細な事故分析を行い、事故削減に向けた効果的かつ適切な施策の展開を図る。

(方法)

市町村からの事故多発地点の通知（各町村は2箇所程度、各市は3箇所程度）を各地方振興局が取りまとめ、福島県道路環境整備技術調査委員会に提出する。

同委員会において、提出された事故多発地点の中から6箇所程度を選定する。

同委員会委員、道路管理者、県警、交通関係団体等による現地調査を実施の上、対策案を取りまとめる。

道路管理者、県警などにおいて、道路環境や規制状況の改善を行う。

2年後に対策による交通事故抑止効果について検証を行う。

URL

https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec_file/jikotahatsutitenjigyo2023.pdf

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

交通事故防止啓発事業

直轄事業

実施目的

自転車利用時のヘルメット着用、飲酒運転の絶無、信号機のない横断歩道での一時停止等、広く県民に交通ルールの遵守を呼び掛けることにより交通安全意識の高揚を図り、交通事故を未然に防止する。

実施場所

県内全域

対象者

県民一般

開始年度

令和元年

予算

0 千円

実施内容

（内容）

県内の交通情勢に応じた交通安全啓発を推進することにより、県民の交通安全意識を高め、交通事故の未然防止を図る。

（方法）

- ・CMの作成、県内民放各局での放映（（公社）福島県トラック協会の協賛による）
- ・各種媒体（テレビ、ラジオ、新聞、広報紙、HP、SNS等）による広報
- ・ポスター・チラシの作成、関係機関・店舗等への配布
- ・県下一斉街頭啓発、事業所訪問 など

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

高齢者の交通安全対策の推進

直轄事業

実施目的

運転免許証を自主返納しやすい環境づくりを推進し、高齢運転者による交通事故を未然に防止する。

実施場所 県内全域

対象者 高齢者等（※１）

開始年度 令和元年

予算 0 千円

実施内容

（内容）

県内の協賛店において運転経歴証明書を提示した運転免許証自主返納者に様々な特典やサービスを提供する。

（方法）

特典やサービスを提供する協賛店を県ＨＰ等により募集し、趣旨に賛同する事業者からの申請を受け、協賛店として登録する。

登録した協賛店は県ＨＰ等で周知するとともに、各協賛店にはポスターを掲示する。

提供する特典やサービスの内容は協賛店が決定し、特典やサービスにかかる費用は協賛店が負担する。

（※１）運転免許証を自主返納した高齢者等が対象。

URL

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16005d/jisyuhennou.html>